

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H28.11.11	市政懇談会 (H28)	小山田	健康福祉部	地域医療対策室	地域医療の現状と新総合花巻病院の進捗状況等について	地域医療の現状はどうなっているのか。特に県立東和病院の経営状況が黒字から赤字になってきていると聞いたが、本当か。本当だとすると改善策があるのか。 また、新総合花巻病院の建設に関する進捗状況等についてお聞きしたい。診療科目が減少するとのうわさがあるし、医師の確保、完成予定の時期について教えていただきたい。	東和の地域医療については、県立東和病院が一般急性期医療や救急患者の受け入れなど「急性期」の患者への対応を行っている。27年度の入院患者数は1日平均56人、外来患者は1日平均104人で83%の利用率となっており、25年度26年度とも同じ傾向となっている。 経営状況については、26年度に赤字となったが、27年度は赤字が減少し、今年は持ち直していると聞いている。本年4月から地域包括ケア病床10床を導入して「回復期」の患者への対応も行っており、訪問診療もしている。今後も主要な病院として頑張っていただけのものである。  新総合花巻病院の進捗状況については、これまで移転整備検討委員会において専門的な見地から様々な視点で基本構想案をご検討いただいて、委員の方々から頂戴した意見を踏まえて総合花巻病院において事業規模や内容の精査など基本構想案の見直しを行っている。このたび基本構想案の精査がなされ見直し案がまとまりつつあるので、構想案がまとまった段階で、改めて説明したいと考えている。 診療科目については、今の診療科目を継続することで検討していると思う。全国的に小児科医、産科医が少ない状況があるので、設置は難しいと思う。 医師の確保については大切なことなので、総合花巻病院さんと一緒にお願いしている。 完成時期は、以前お示した基本構想案の時期よりも、遅れる見通しである。
2	H28.11.11	市政懇談会 (H28)	小山田	健康福祉部	地域医療対策室	産科医、小児科医が少ない理由について	全国的に産科医、小児科医が少ないのはなぜか。	産科医は、全国的に若干増えてきている状況があるが、女性医師が多く出産で現場を離れることが多々ある。産科医は3人ないし5人などの人のチームで動いているので、花巻に限らず全国的に医師確保は難しい状況である。
3	H28.11.11	市政懇談会 (H28)	小山田	健康福祉部	地域医療対策室	新総合花巻病院の病床数と医師不足について	花巻市として、新総合花巻病院の病床数について、どれくらいが適当と考えるか。また、全国的に医師不足だとのことなので、県で海外から医師をお招きすることを考えてもいいのではないかと。	総合花巻病院が現在許可をいただいている病床数は284床あるが、現在は174床を利用している。病床数は岩手県が許可しているものであり、新総合花巻病院を含む中部保健医療圏の基準病床数は、岩手県の保健医療計画に位置付けている数があり、現在は圏域全体でその数を超えている。従って、現在許可している病床数よりも多くなることは考えられない。  海外からの医師招へいについては、県が検討しているかわからないので、今日はお話をお聞きした。
4	H28.11.11	市政懇談会 (H28)	小山田	健康福祉部	健康づくり課	はしかの予防接種について	はしかの予防接種について、1回しか実施していない世代の感染が問題になっているが、その対策について市で考えていないのか。	はしかなどの定期接種は、国が定めたものに基づいて実施しているが、制度の変わり目では受けられないこともある。現在国からの通知はない。  以前岩手県で、2分の1補助で実施した経緯はあったと思った。予防接種ワクチンも万能ではないことから、国ではワクチンの効果及び副反応の研究を行い、全国で行うか判断している。市として必要と思われるものについては、国に要望することとしている。
5	H28.11.11	市政懇談会 (H28)	小山田	東和総合支所 総合政策部	東和総合支所地域振興課 秘書政策課	新規就農による町づくりについて	田瀬地区にある西武鉄道(株)所有の山林を利用し、市で圃場を整備しりんご栽培を行いたい若者を募集して、町づくりをしてはどうか。	以前開墾した西武鉄道所有の土地は、現在木が生い茂っている状況。市として現在土地の活用計画は、持ち合わせていない。  人口減少は全国的にも市としても重要な課題ととらえている。現在市で行っている定住対策として、空き家バンクの開設や地域おこし協力隊の配置を行っている。東和地域にも2人配置になっており、県外の若者の力を借りながら町づくりを行っているところ。ご提言の趣旨は市と同じ路線だと思う。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
6	H28.11.11	市政懇談会 (H28)	小山田	商工観光部	商工労政課	若者の職場確保について	北上市は人口維持が出来ているが、花巻市は減少しているとの新聞記事を見た。北上市との違いは、若者の働く場所があるからではないかと考える。今の若者は高学歴化しているので、高度な仕事を求めて外に出てしまう。その点も考慮して、仕事の場づくりを優先して考えてはいかがか。	おっしゃる通りだと思う。若者の定住がなければ人口も増えない。若者が外に出て帰ってきていない状況があるので、単純に工場誘致を行えばいいわけでもないようだ。若者にマッチした仕事の場の提供が必要と考えている。
7	H28.11.11	市政懇談会 (H28)	小山田	農林部	農政課	農家への補助金対象の拡充について	新規就農者には補助金や助成金があるが、農家の長男などが現在生産している農産物の事業を拡大する際には補助金の対象とならないと聞いている。補助金をいただければ、農家をやりたい人も増えると思う。	意見を担当課に伝える。 →農政課から本人に連絡。発言内容確認を行い、制度内容等について説明し解いたいただいた。
8	H28.11.11	市政懇談会 (H28)	小山田	生涯学習部	国体推進課	国体の効果について	いわて国体開催による効果について教えてほしい。	国体の効果については、各競技会場で地元業者による食事の提供やお土産などを販売しました。花巻温泉郷への宿泊者数は、平成27年10月は、およそ8万4千人、今年10月は、およそ9万6千人で1万2千人ほど増加しました。また、バスでの輸送やタクシー利用などにより公共交通の利用も増加しました。また、市内児童生徒が全国トップレベルの競技を観戦し、市民の皆様もボランティアとして、あるいは競技観戦を通してスポーツとの関わりを持ったことにより、スポーツの普及、振興につながることを期待している。国体の感想として、天皇杯及び皇后杯2位と地の利が大きいと感じたし、施設もすばらしいとお褒めの言葉もいただいた。市民の協力により、快く楽しんでいただきながら花巻市を全国に発信できたものと思っている。
9	H28.11.11	市政懇談会 (H28)	小山田	建設部	都市政策課	予約乗合タクシーについて	現在乗合タクシーは、バス停など一定の場所までいかないと乗れない。足の悪い高齢者は歩くのが大変。自宅近くまで入ってこれないのか。	現在運航している予約乗合タクシーは、介護タクシーとは違い乗合いのバスであり、法令の制約により近くの幹線道路まで出てきていただく必要がある。今後、当日予約ができるようになるなど、改善しながら進めているところであり、ご理解いただきたい。
10	H28.11.11	市政懇談会 (H28)	小山田	農林部	農村林務課	枯松について	枯松の倒木が多くなってきている。行政の対応を待っている時間がない場合は、私も自分で対応している。解決方法はないと思うが、何かいい方法があれば教えてほしい。	2年前の市政懇談会の席上でも話が出たが、あの時と状況は変わりがない。後手ではあるが、倒れた際にその都度対応しているところ。予防策を取りたいところだが、出来かねている。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H28.11.18	市政懇談会 (H28)	松園	教育部	こども課	保育園の民営化に伴う市の 考え方について	一時地域で話題になったが、公立保育園の果たした役割があると思うので、移管方法と移管先については厳選し、民営化後は数年間指導をお願いしたい。そして、今後どのような展開になるのか説明願いたい。	平成28年3月、再編指針に基づく第1期(H27～H29)実施計画を策定し、平成29年度から民営化する公立保育園として3園 日居城野保育園、南城保育園、湯本保育園を選定した。 選定の理由として日居城野保育園は、市の中心部に位置し、H28年3月で入所児童66名、110%の入所率となっており、今後とも安定して入所希望者が見込めることから、民営化後の安定した運営が望めるためである。 移管先は、公募により選定することとし、このための選定委員会を設置し、募集要項や選定要領についても選定委員会で定めることとした。 公募は、日居城野保育園には1件応募があり、選定委員会において選定を行い、社会福祉法人松園福祉会に移管することについて市が決定し、7月25日に公表した。 移管後の保育園運営については、保育内容は継承に努めていただき、変更する場合は、必ず保護者の方々の同意を得ていただくこととしている。また、移管後5年間は運営方針や保育課程などの提出を求めて、運営計画として確認し保育の継承などについて市が関与することとしている。 日居城野保育園移管先法人決定後の状況は、8月に保護者の方々へ移管先法人を紹介する説明会を行っており、その後、保護者代表と移管先法人、市担当による三者協議の場を設け、円滑な移管を進めるための「日居城野保育園移管計画」の協議を2回、保育の継承について協議を1回行った。 移管計画は、移管後3年間にわたるもので、移管となる平成29年4月以降も三者協議を行うこと、市が訪問指導すること、保護者アンケートなどを行い保育内容を評価し公表することなどを盛り込んでいる。 移管計画策定により、10月からは6か月間の引継保育を開始しているが移管先法人から保育士を派遣いただき、実際に毎日の保育に入ることにより、入所児童や保護者の方々とは良好なコミュニケーションが図られている。 第1期実施計画の今後の予定は、平成29年4月移管に向けた保育等の引き継ぎとあわせて、建物の無償譲渡等の事務的な手続きを進めていくが、再編全体の動きとしては花巻市公立保育園再編指針により、平成29年度は再編第1期実施計画の実績を検証しつつ、引き続き民営化の方法による再編第2期実施計画の策定に向けて取り組みを進めていく。
2	H28.11.18	市政懇談会 (H28)	松園	建設部	都市政策課	空き家対策の促進について	市では空き家対策を進めていると思うが、地域においても居住不可能な空き家が増加しており、防犯・防火上と景観確保の上から問題が生じている。空き家対策条例を制定すべきと考えるが市の考えをお聞きしたい。	市では、7月に花巻市空家等対策計画を策定し公表した。この計画に基づき、近隣住民等から通報があった場合は、管理不十分な空家等の所有者等に対し、適切な管理のお願いの文書とともに現況の写真や市内の管理業者の紹介等を送付し、対応をお願いしている。空家等の管理は、所有者等が自らの責任により的確に対応することが前提となるが、管理を十分に行わず、周辺住民や通行に悪影響を及ぼす空家等を特定空家等と市が判断した場合は、所有者等に対し助言・指導を行い、催告した場合は固定資産税の住宅用地特例から除外される等の措置を行い、是正されない場合は、命令、行政代執行を行うこととなる。 今年度は市内全体では500件の空家を調査しており、その内松園地区は20件の空家を調査している。現在、空家等実態調査及びデータベース化を業務委託し、空家等の状況を把握するとともに内部で情報を共有化することで迅速に空家対策を進めたいと考えている。  国において、空家対策にかかる法律を制定する動きがあった。国の法律と違うことを条例で決めても法律に抵触する範囲で効力がないため、花巻市では条例を作ることは考えなかった。国の法律により、催告等をしては是正されない場合には、市で代執行により建物を壊すこととなるが、解体費用は数百万円かかる。この代金は所有者に請求することができるが、回収は難しいと思われ、回収できない場合は市民の負担となる。また、代執行には、要件も厳しいことから簡単にはいかないのが実態である。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
3	H28.11.18	市政懇談会 (H28)	松園	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習を地域ですることについて	現状は前振興センターの担当者がやっていた内容などを引き継ぎ行っているがコミュニティ会議で行う際、先立つ人が大変である。市からの指導や助成をいただいているがやることは良いが果たして地域の皆さんに理解してもらえるようにするにはどうしたらよいかを考えるべきと思うが市の考え方をお聞きしたい。	地域で生涯学習をする意義だが、既に市内27のコミュニティ会議により、地域づくりが進められている。その中で、生涯学習においても地域に根差し、地域を活性化するための事業は、地域が主体的に考えて実施したほうが効果的であることから、平成28年度からは各コミュニティが主体となって実施していただいている。 市では、今年度コミュニティ会議等の職員を対象とした研修会を実施しており、来年度以降は、岩手県生涯学習センターの研修も組み込むことも考えており、市の研修と併せて支援していきたいと考えている。
4	H28.11.18	市政懇談会 (H28)	松園	健康福祉部	地域福祉課	民生委員の選出について	民生委員の選出ができなくて困っている。ほとんどはボランティア的な役割となっているように思うが、昔に比べて地域のつながりが薄れてきていることも問題ではないかと感じる。何か解決策はないのか。  自分は区長もしているが、3年前に民生委員になる人を探して10人以上声をかけたがなり手が見つからなかったため、仕方なく兼務してきたところである。民生委員の業務は、一人暮らし世帯の訪問等プライベートに関わることや赤い羽根募金など多岐に亘っておりとても忙しい。仕事量を減らしたり、待遇改善を図っていく必要があると思う。	民生委員の業務が大変忙しく、なり手がいないということも認識している。しかしながら、個人の生活に関わっていく業務があるため誰でも良いというわけにはいかず適任者にお願しなければならぬ。昨年度から、社会福祉協議会委託で地域福祉訪問相談員の非常勤職員5名を8名に増員しており、高齢者の見守り等民生委員に関わる業務の一部を担ってもらっている。また、民間の宅配業者等と協定の締結を進めている。大変ご苦労をかけており申し訳ないが、少しずつ負担を減らしていきたいと考えている。
5	H28.11.18	市政懇談会 (H28)	松園	健康福祉部	地域福祉課	民生委員の業務について	自分も区長をしているが、同じようになり手がいなかったため妻に民生委員をしてもらっている。仕事が大変で本当に苦労しているがなかなか理解してもらえずストレスとなっている。民生委員は社会福祉協議会の下請けで業務をしているように感じる部分もある中で、なかなか連携もうまくいっていないと感じている。	いただいた意見については、市の担当部署を通じて社会福祉協議会につないで少しでも解決できるようにしたいと思う。
6	H28.11.18	市政懇談会 (H28)	松園	総合政策部	防災危機管理課	避難準備情報について①	先日の台風10号の際に、花巻市でも避難準備情報が発令されたので、状況把握に努めようと考えていたが、発令後30分くらいしたところで、市の本部から被害状況確認の問合せがあった。被害状況などを確認するにはある程度の時間が必要だと思うので少し時間を置いてから連絡いただくようにする等考慮願いたい。 また、避難準備情報は防災ラジオでも流れていたが、その内容は「避難準備情報を発令しました」のみであった。これでは、高齢者や障がい者など特に避難が必要な方がどのような行動をとったらよいかかわらないと思う。もう少し最低限の必要な情報を加えて流すべきではないのか。	避難準備情報が発令されて30分後に連絡するのは早いと思うので、このことは担当課に伝えることとしたい。 また、ラジオについては、なるべく説明を加えて周知するように指示しているが、今回は十分ではなかったようである。このことは担当課に確認する。携帯電話のエリアメールは、文字制限もあり伝えられる情報の量に制約があるが、なるべく正確な情報を伝えるように取り組んでいる。
7	H28.11.18	市政懇談会 (H28)	松園	総合政策部	防災危機管理課	避難準備情報について②	ハザードマップを全戸配布していただいたが、今回の台風10号では、活かされていないと感じた。本部からは、被害状況の連絡があったが、ハザードマップによれば、松園地区は、水害はあまり想定されないとと思われる。特に避難が必要な地域を優先して情報収集するべきだと思う。	現在は、避難準備情報については、全地域に発令しているが、実際には洪水等警報によっては、対象とならない地域もあることから、もう少し避難が必要な地域を限定して避難情報を出せるような体制を準備している。もう少し時間をかかると思うが、よろしく願いたい。
8	H28.11.18	市政懇談会 (H28)	松園	総合政策部	人事課 防災危機管理課	自主防災組織の活動について	市内には、自主防災組織が208あると伺っているが、実際に活動している割合は、とても低いと思う。市として、活動を活発にしていくための対策を考える必要があると思う。しかしながら、担当課の職員はとても少ないため難しいのではないかと思慮する。例えば、地域防災推進員を設けて、実際に活動している組織と連携していくことにより、ほかの組織にも波及していくことが期待されるのではないかと。	意見いただいたとおり、市の防災担当職員は少なく足りないことは認識している。これまで、市職員を減らしてきた結果、市役所全体の人員が不足している状況であり、これ以上は減らすべきではないと考えている。その中で、国体が終わったことから、11月1日付で人事異動を行い忙しい部署を中心に増員したところである。急に人員を増やすことは難しいが、少しずつ改善を図っていきたい。 昨年から防災訓練を各地域で実施しており、今年度は5回予定している。訓練により、問題点などがたくさん出ているので、少しずつ改善を図っている。また、訓練により自主防災組織も意識を持っていただくことも大事であると考えている。 防災推進委員については、一つの考えだと思うが、人員が少ない中で優先する業務がある中で、時間をかけて考えていきたい。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
9	H28.11.18	市政懇談会 (H28)	松園	総合政策部	地域づくり課	行政区のエリアについて	前の区長からの引継ぎで行政区のエリアがわかる図面をもらっていたが、エリア外だったり、行政区境が微妙な方の異動者リストが送られてくるが、どのようにして決めているのか、基準はどうなっているのか。	担当課で割り振りをしていると思う。行政区境が微妙な場合は、事前に担当と行政区長と連絡をとりあった上で、判断すればよいと思うが、担当課に確認して連絡することとした。  →地域づくり課より本人へ説明し了解済。行政区の区分けについては、住居の新築等に伴い、転居届等を届出た際に市民登録課で、地域づくり課が作成した行政区を区分けした住宅地図をもとに行政区を決めている。なお、事情により行政区界を変更すべきと考えられる場合、当該行政区長より地域づくり課へ連絡いただき現地を確認し、隣接する行政区長を含め協議した上で行政区界を変更する。行政区長からの情報提供をお願いしたい。
1	H28.11.21	市政懇談会 (H28)	新堀	生涯学習部	国体推進課	希望郷いわて国体、希望郷いわて大会について	10月に開催された「いわて国体」「いわて大会」は、本県に大きな好成績を残して終了した。花巻市内でもたくさんの競技が行われ、石鳥谷ふれあい運動公園でもソフトボールやフットベースボールの競技が行われた。市では、これらの大会について、成績だけではなく、準備や運営、住民への周知、来場者への対応、資金面など、全体的にはどう評価しているのか。	希望郷いわて国体開催に向けては、市広報の国体コーナーやホームページをはじめ様々な広報活動を通して市民に周知を行った。駐車場については、不足が予想されたことから臨時駐車場を設置し、シャトルバスによる計画輸送等により来場者を受け入れ、ソフトボール競技に関しては各県選手団に担当職員を配置し対応に努めた。国体運営については、既存の施設だけでは運営ができないこともあり、仮設スタンド、選手控所の設置など、また、輸送交通の運営にあたっての経費については、市の負担が求められたが、これらの対応が、会場に訪れた競技団体をはじめ選手、応援団からも評価を得ている。 また、市内小中学校児童生徒が作成したのぼり旗の掲示の取り組みや競技観戦は、次代を担う子供たちにもおてもなしの心を養い、今後のスポーツ振興にとっても大変有意義であったと思う。花巻市実行委員会としては、全国の皆様に花巻市を印象付けるとともに、大会のスローガンである「広げよう感動」「伝えよう感謝」の思いと、おてもなしの心も伝わったと思う。  「希望郷いわて大会」に高円宮妃殿下と女王殿下がお見えになり、女王殿下から、ふれあい運動公園の真ん中の事務所は何ですかと聞かれた。酒樽ですとご説明するとともに、南部杜氏について、また、国内でも有数のソフトボール施設ですとご説明した。大変良い印象をお持ち頂いてお帰りになりましたし、大会の参加者も良い会場だという事で、お褒め頂き帰られた。 応援に来て頂いた事、また花をたくさん植えて頂いた市民の皆様、特に石鳥谷の皆様のご協力に感謝申し上げたいと思う。市民の方々の協力がなければ、上手く行かなかったと思う。
2	H28.11.21	市政懇談会 (H28)	新堀	生涯学習部	国体推進課	国体期間中の宿泊について	宿泊施設、温泉施設の利用状況はどうだったか。	10月1日から11日までの7競技のうち、サッカーと野球では盛岡市と一緒に開催という事で盛岡に宿泊し、花巻市内には5つの競技で宿泊した。宿泊については、市内の施設に、数年前から受入れについてのアンケート調査をしており、受入れ可能な中で、対応した形である。 また、近隣の北上市で開催した陸上やソフトテニスの選手も、花巻市に宿泊となったと聞いている。 応援に来る方々の宿泊の予約が取りにくいという状況であった。これは、過去の国体でも同様で、選手の分である程度キープしており、最終的には9月の組合せ抽選会が決まってからとなったため、一般の方が取りにくい状況であった。9月中旬からは、ある程度チームの予約が固まり、一般の方が予約を取れる状況となった。  花巻温泉は、通常の10月より、宿泊が20%ほど増えているとのこと。他の温泉も、同じようであるが、国体を開催するのはそれだけではなく、市民の皆さんが喜ぶ、花巻を全国に発信する。花巻は観光都市なので、そういう意味でも良かった。 また、天皇后両陛下、皇太子殿下が2泊もされた。宮様方も、半分位は花巻に宿泊したと思う。隣の北上市が主会場になったが、他の市長と話をすると、花巻市は良いですねと言われる。それだけ花巻の温泉郷が素晴らしいことをPRできた。その意味でも、国体が開催できて良かったと思う。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
3	H28.11.21	市政懇談会 (H28)	新堀	総合政策部	防災危機管理課	避難所設置等について	<p>今年は8月に台風等による洪水が予想されたため、避難準備情報が発令され新堀振興センターに避難所が2回設置された。この運営体制の評価は全体的にどうだったのか。</p> <p>その際、新堀地区では、市職員が対応した状況がコミュニティ会議職員に伝わっておらず、住民から問い合わせがあった際に答えられなかった。</p> <p>また10月に実施された新堀地区での防災訓練には、多くの地区民が参加したが、事前に訓練の内容、方法、周知など、さらに徹底するべきところもあったのではないかとと思われる。こういったことから、今回の防災訓練をどのように評価されているか。</p>	<p>避難所の開設の際は、市職員1名を配置し、地域の情報収集や災害警戒本部との連絡、避難者の受け入れに当たり、住民が避難してきた避難所では職員を1名追加配置、食糧、毛布等を提供するなど、避難してきた方々のお世話にあたる等避難所の運営を行った。今後は、コミュニティ会議の職員の方が執務している時間帯においては、防災情報や施設の利用状況等を、コミュニティ会議に提供していく。また、今回の防災訓練を開催するにあたり、事前に各地域の自主防災組織の代表者、消防団と打ち合わせ会を3回開催し、地域内には訓練の開催チラシを世帯回覧し周知を図った。訓練は、河川洪水を想定したが、訓練対象地域には、浸水想定区域以外の区域も含まれており、実際の避難行動と異なる訓練となった。今後の訓練においては、浸水想定区域外では、情報伝達や安否確認訓練とするなど訓練内容を検討していく。</p> <p>避難準備情報は、住民に対して避難準備を呼び掛け、災害時要援護者に対して、早めの段階で避難行動を開始するという趣旨で発令しているが、上手く伝わっていない。「広報はなまき」に掲載したが、その理解はまだ十分ではないことから、今後、色々な機会において周知していく。新堀地区は、浸水区域とそうではない区域があるが、避難準備情報は全地域に発令となる。今後は、浸水する地域だけに避難準備情報を発令することを検討している。</p> <p>エリアメールは旧市町単位となるが、避難準備情報を発令する地域は、振興センター単位もしくは、振興センター単位が広域である地域は、行政区単位で発令することを検討している。</p> <p>新堀地区の洪水防災訓練は、高地に住んでいる方が平地の方へ避難していただいたということがあったと聞いている。実際の災害時に役に立つ訓練をしないといけない訳で市として反省すべき点である。自主防災組織があっても、訓練をしないと問題点が分からない。今後も毎年、市内4・5ヶ所位で訓練をする。新堀地区が自主的に訓練をする場合も当然協力していく。</p>
4	H28.11.21	市政懇談会 (H28)	新堀	総合政策部	防災危機管理課	新堀堰・支川等の対応について	<p>平成25年に石鳥谷地域にゲリラ豪雨があった。その際、戸塚森の下の新堀堰が決壊した。それから、3区の内御堂の所も。今まで降雨で決壊するという事はなかった。北上川だけではなく、その支川、日頃大した事のない沢等も、流域面積がある程度ある所は、松枯れで、松の木がかなり倒れているため危険である。その辺も防災の関係からすると、危険区域という形で捉えて、どう対応するか考える必要があるのではないか。</p>	<p>訓練の時には、その様な場所を踏まえた上で訓練をする。今年の防災訓練で、笹間の田沢ため池が決壊すると100戸まではいかないが、被害を受けるという事で、ため池の決壊を想定した訓練を行った。これは、笹間地区の方から訓練をしたいとの申し出があり実施した。同じような形で、地区の方々と一緒に訓練するという事をやっていく必要があると思う。</p> <p>新堀堰については調査する。(防災危機管理課長へ指示)</p>
5	H28.11.21	市政懇談会 (H28)	新堀	石鳥谷総合支所	石鳥谷総合支所 地域振興課地域 支援室	石鳥谷生涯学習会館の雨漏りについて	<p>石鳥谷生涯学習会館は耐震補強をしていて、今後も使用するという事だと思うが、雨漏りを何とかして欲しい。雨漏りの際、シートをかけ、集めた雨水をバケツに入れている。雨漏りは数年経過しているので、そろそろ直して欲しい。</p>	<p>業者の方に見てもらい、屋上全面に防水シートを張っているが、雨漏りのルートが解明出来ないという事で、雨が降った際の応急対策をしている。</p> <p>会館の職員とも話をしており、雨が降った際は、雨漏りのルートを良くみるように伝えていく。今後、大規模な改修工事になると、花巻市で現在、公共施設等総合管理計画を策定しているが、抜本的な改修等についてはこの計画に沿って協議をしていくことになると思う。</p>
6	H28.11.21	市政懇談会 (H28)	新堀	農林部	農村民務課	暗渠整備事業の継続について	<p>新堀地区は、平成2年から平成11年にかけて、水田を全部1畝規模の水田に基盤整備している。現在、年数が経過したことから、暗渠排水の整備を行っている水田があると聞いている。その暗渠排水の事業は、国からの補助で行っているが、「補助金が今年度で終わりだから、今年やる」と言う話を聞いた。圃場整備をしても、暗渠なども年数が経つと詰まるので、整備を直す或いは、清掃する等の対策が必要になってくる。暗渠整備の補助については、将来も継続してやって欲しい。機会があれば国への声掛けをお願いしたい。</p>	<p>暗渠整備についての国からの補助がなくなることは聞いていないので、確認し調べた上で、必要な対応をするように指示する。</p> <p>→暗渠排水整備に係る補助事業(農地耕作条件改善事業)は、補助金交付単価が、今年の国補正予算分から半額(15万円/10a→7.5万円/10a)となったが、来年度も継続する旨を、12月2日に電話にて発言者本人に連絡した。</p> <p>&lt;石鳥谷東部土地改良区理事長にも連絡済&gt;</p>

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)																
7	H28.11.21	市政懇談会 (H28)	新堀	教育部	こども課	学童クラブの補助金について	新堀の学童クラブ20人以上・20人以下のぎりぎりのラインで、補助金が180万円近く差があるらしい。180万円多いと先生も1人常勤でお願いできる。何とか幅を持たせて、補助金をもらえないものか。	<p>国の制度により、予算が違ってくるので、市独自の予算で出来るかというところ、なかなか厳しいものがある。お話は良く分かるが、そういうところは1か所だけでなく、同じような所が、市内に沢山ある。そのような問題意識は、教育委員会も持っている。</p> <p><b>【現状と取り組み】</b> 学童クラブの委託料は、国の基準により市が負担しており、委託料の基本額は年間平均登録児童数が算定根拠となっている。 新堀学童クラブの年間平均登録児童数はH28.12.1現在20人、委託料の基本額は3,336千円であり、児童数が19人となった場合は1,991千円(基本分1,447千円+小規模加算544千円)となることから1,345千円の差が生じる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(参考)</th> <th>年間平均登録児童数</th> <th colspan="2">増減</th> </tr> <tr> <td></td> <td>20人(A)</td> <td>19人(B)</td> <td>C(B-A)</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本額</td> <td>3,336千円</td> <td>1,447千円</td> <td>△1,889千円</td> </tr> <tr> <td>小規模加算</td> <td>—</td> <td>544千円</td> <td>544千</td> </tr> </tbody> </table> <p>学童クラブにおいて、児童数が19人以下になった場合でも、必要な職員数(最低2名の配置)は変わらないため、大幅に運営費を減額することは困難であること、また、今年度の委託料が確定しない中での運営に苦慮されている状況を把握しており、市単独の支援について検討している。</p>	(参考)	年間平均登録児童数	増減			20人(A)	19人(B)	C(B-A)	基本額	3,336千円	1,447千円	△1,889千円	小規模加算	—	544千円	544千
(参考)	年間平均登録児童数	増減																						
	20人(A)	19人(B)	C(B-A)																					
基本額	3,336千円	1,447千円	△1,889千円																					
小規模加算	—	544千円	544千																					
1	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	総合政策部 市民生活部	人事課 生活環境課	花巻城本丸跡の北側法面の管理について	花巻城本丸跡は、西御門などの建造物が復元されるとともに鳥谷ヶ崎公園として整備されている。近年、本丸跡より北側の景観が阻害されているとの理由から、北側の法面の樹木の伐採が施工されているが、地区民からは、樹木の伐採等により、法面の保水力がなくなり土砂崩れなどの事象が発生しているとの指摘が多数寄せられている。防災上の観点からも何らかの対策が必要と思われるが市の考えを伺いたい。	<p>今年度は、地元区長さんから斜面の樹木が倒れそうになっているとの情報があり数本処理している。管理にあたっては、景観や歩道の通行に支障がないように配慮し、基本的には樹木を残して下刈りにより管理することとしたい。ただし、危険性がある場合には、木の根元は残す形で切らせていただく場合はあると思うが、あまり法面を傷めないように管理していきたい。</p> <p>土砂崩れがないように管理したい。また、現在、生活環境課に公園の担当係はあるが、公園の整備や今後の方向性について考え検討するまでには至っていないので、来年度はこのための部署をつくるよう指示しており、公園についてももしっかり考えていきたい。</p>																

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
2	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	総合政策部 建設部	防災危機管理課 道路課	北上川及び瀬川の堤防強度 点検等について	花北地区の大部分は、北上川と瀬川に囲まれている。最近各地で想定外の雨量を記録して水害に見舞われているニュースを見ると、現在の堤防がどの程度の水量に耐えられるのか、堤防の高さの他に弱い部分がないのか、点検がどのように行われているのかを知っておくことは、当地域住民として大切なことと思っている。大きな河川の管理は、国や県の担当部署で行われていると思うが、関係機関と市が連携をとり、地元にも堤防に関する情報を教えていただきたい。 また、気象情報で時間雨量などの報道が度々あるが、雨の降る場所によって水位が変わってくると思うが、後川等で雨量がどのくらいになれば危険になるか、一応の基準があれば教えていただきたい。	北上川右岸朝日橋付近の堤防は、昭和22年9月のカスリン台風による洪水と同規模の洪水に耐えることを基準として整備されている。堤防の点検については、岩手河川国道事務所水沢出張所の巡視員により、毎日パトロールが行われており、同じ場所は、週2回程となっている。 堤防に関する情報については、管理者の国土交通省岩手河川国道事務所による説明の機会を持つことを花北地区コミュニティ会議と相談の上検討したいと考えている。また、後川の避難判断水位の基準は設定されていないが、大雨が予想される場合、市の道路課、消防本部では現地パトロールを行い警戒している。なお、イトーヨーカ堂付近から下流は県が管理する河川であることから、避難判断水位等の設定の前提となる水位周知河川として指定するよう本年8月に県に要望したところである。県によると、水位周知河川の設定には、洪水による水位のデータを収集する必要があるため、5年程度要すると伺っているが、いずれ危険個所の基準は示していきたい。 なお、北上川本流については、朝日橋付近で国から水位が5mとなり更に増水が予想される場合には、まず市では避難準備情報を発令し、水位が5.3mとなれば、避難勧告をする。更に堤防を巡視し危険度が高まった場合には、避難指示をすることとなる。 国では、最新の災害情報をメールやネットにて提供するサービスをしている。また、昨年度全戸配布したハザードマップも活用していただきたい。  市でもパトロールを実施しているが、すべて把握することは難しい。北上川を含め、地域の方から情報提供をお願いしたい。このことは、国や県に伝え対応したい。
3	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	建設部	道路課	イギリス海岸付近の砂利について	地区行事で招待した際に、岩手河川国道事務所水沢出張所長にも話をしていてイギリス海岸向いの砂利が浸食されているので整備していただきよう市からも国に働きかけしていただきたい。	北上川の砂利については県に要望している。しかしながら、花巻地域は緊急性が低いため今のところ整備計画の予定には入っていないと伺っているが、今後も引き続き要望していきたい。堤防の整備では、石鳥谷地域の新堀、八重畑地区が平成30年以降に整備される可能性が出てきているが、南城地区は人家がないため優先順位が低くなっている。
4	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	建設部	道路課 下水道課	下似内付近の水門について	下似内付近に水門が2つあるが、その内1つが常時開いている。大雨により水位が上昇した場合には、逆流して住宅が浸水となる危険性があるため常時閉めていただくよう県にお願いしているが対応していただけない。市からも県にたいしてお願いしていただきたい。	一度現場を確認して、県に要望することとしたい。  →佐藤氏と立会いし現地を確認した。岩手県管理の水門については道路課で水門管理業務を受託しており、岩手県から指示があった場合に水門操作を行うこととしている。本要望について、水門管理者である花巻土木センターへ説明したところ、閉鎖の可否を検討するとの回答をいただいた。また、大雨により水門付近が冠水する恐れがある場合は、道路課で排水ポンプ設置を実施している。【道路課】  →瀬川左岸下流側の水門については、平時は維持管理上必要な流量を確保するため開門しているが、豪雨時においては、新川都市下水路の巡視を行い、小舟渡地内での溢流が予見される状況となった場合に、閉門することとしている。【下水道課】
5	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	建設部	道路課	北上川瀬川の堤防強度について	先ほど、後川について説明いただいたが、北上川の瀬川の堤防についてもお聞きしたい。	瀬川も岩手県の管理河川であり、市では年2回の水門点検を実施しているが、堤防の強度については把握していないので県に確認する。  →岩手県に確認したところ、10年に1度の確率で発生する大雨でも溢れないように整備された堤防であると回答いただいた。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
6	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	市民生活部	生活環境課	新興製作所跡地の廃棄物について	新興製作所跡地のことで、新聞記事等を拝見して気になったのがPCB廃棄物である。新興製作所の元従業員からはシアンや青酸カリなど毒物を多く取り扱っていたと聞いている。毒物は県の担当だと思うが、市のとしてどの程度把握しているのか。	現在、PCBは新興製作所敷地近くにある空き家に運んで保管しており、県によると建物の中で一定の基準により適切に管理していれば問題ないとのことである。しかし、PCBは平成35年までに処分することになっているが、このままの状態が続き処分できなくなる可能性もある。今すぐに地域住民への害はないが、将来的に処分の仕方については課題となっている。市からは県に対して業者に適切な指導をするように強く要望しているが引き続き働きかけていきたい。また、土壌については、解体前に既に調査を実施しており、シアン等の有害物質については心配ないと伺っている。
7	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	市民生活部	生活環境課	JR釜石線の土手付近の草刈りについて	愛宕町から下幅、四日町地区にかけてJR釜石線の土手付近の草刈り及び樹木の伐採をするようにJRにお願いしているが広範囲で予算もかかると思われるためなかなか実施していただけない。市からもJRに働きかけていただきたい。	現場を確認した上でJRに伝えることとしたい。
8	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	財務部	契約管財課	私有地を活用した公共施設の建設について	桜台小学校に上る階段(花巻神社)周辺に広い使われていない民地があり、有効活用できないものかと思っている。例えば児童館や老人センターの建設など何か活用できないものか。	市では現在、花巻市公共施設等総合管理計画の策定を進めているが、今後40年間の公共施設の維持管理費等を試算したが4,000億円という莫大な予算がかかり財源が不足することが見込まれている。そのため今後は市の公共施設も統廃合していく必要がある。その中で、花巻図書館の建設や文化会館の改修も今後必要である。財源が厳しい中、優先される施設は考えていかなければならず、簡単に建物を造ることは難しい。市内全般に土地は余っている状況であり、市有財産のうち今後活用見込みのない市有地については売却により整理している。
9	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	総合政策部 建設部	防災危機管理課 道路課	避難経路の安全性の確保について	先ほどの説明では、桜台小学校が避難所に指定されていると伺ったが、四日町地区の住民が避難する際には、児童が通学路として使っている前の自動車学校に向かう道路を通ることになると思うが、東日本大震災の際に、少し法面が崩れた箇所がある。避難経路についても安全性の確保をしていただくよう考えてほしい。	現場を確認した上で検討することとしたい。  →現地を確認したところ市道に接する民地の法面に草木が無く、法面の土が市道へ流出している区間があった。急な法勾配が原因で土砂流出しているのではなく、降雨により表土が流出し草木が生育していない状況と考えらる。法面の監視と道路清掃により市道の適正な管理に努めていく。【道路課】
10	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	建設部	道路課	枇杷沢川について	自宅近くに枇杷沢川が流れているが、9月の大雨の際に樹木が流れて堰き止められ10月の大雨の際には、ダムようになり水位が上昇していた。区長から、県と土地改良区には話してもらい現場を確認してもらったが、そのままとなり危険であるので市でも調査いただきたい。	県か市の管理する河川なのか、この場ではわかりかねるので後日現場を確認した上で対応することとしたい。  →花巻市管理区間においては倒木等による堰き止め状態になっている箇所はない。下流側の岩手県管理区間については草木が流れ着いている箇所が点在している状態。河川管理者である花巻土木センターに連絡したところ、現地を調査するとの回答をいただいた。【道路課】
11	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	消防本部	消防本部総務課	市職員の消防団への体験入団について	盛岡市では、新採用職員が地元の消防団員に1年間入り体験をしているようである。これにより防災意識も高まることも期待されると思うが、花巻市では考えていないのか。	現在、消防団員も兼ねている市職員が約100名いる。市職員に対しては、地域の消防であったり、自治会の活動には積極的に参加するように呼びかけはしている。花巻市では、まだ予定していないが、盛岡市からも情報収集したいと思う。  消防団員に加入している市職員は以前に比べて増えている。あまり強制することは難しいと思うが、なるべく入っていただくよう呼びかけは続けていきたい。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
12	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	商工観光部 建設部	商工労政課 都市再生室	大型商業施設の誘致について	今年、富士大学で地方創生についての講演会があり参加したが、その際講師を通じて学生に花巻市に住んでどうかと聞いたところ、花巻市は何もないとの回答であった。花巻市内には、お店が少なく買い物するところが余りないためお金が消費されないのではないかと思うが、活性化策はなるのか。	お店の新規出店は厳しい。商業で活性化となればイオンが考えられるが、スーパー事業が赤字となり新規出店は控えているようである。まずは、イトーヨーカドーを守っていききたい。セブンHDとは協定を締結しており、引き続き連携を図っていききたい。現在花巻市内に大型企業を誘致するための土地がない。花巻南インターのそばに条件の良い土地があったが、既に圃場整備が決定しており無理であった。来年度は、農業振興地域の見直しがあり農振除外について国や県とも話をしている。すぐに新規出店に結びつくわけではないが、いろいろ考えているところである。 市内中心部については、マルカンが改装中だが、市としても改装や耐震工事にかかる費用について支援することを検討している。また、総合花巻病院や花巻図書館等新しい施設を造ることとしているが、加えてどのような施設を造れば活性化となっていくのか、今後検討していきたい。
13	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	建設部	都市再生室	旧エセナ跡地とまん福の活用について	旧エセナ跡地とまん福を上手くコラボレーションして活用できないものか。	旧エセナ跡地とまん福では高低差もあるためコラボレーションは現実的ではない。旧エセナ跡地は国の補助金も活用して広場を整備したいと考えている。まん福には、改修費などで8,900万円かかったが、用途変更するためには更に2億円の経費がかかる見込みであり、仮に食堂のみ運営するとしても最低でも約6,000万円かかる。本来きちんと事前に調査してから取得する必要があったと思っている。
14	H28.11.22	市政懇談会 (H28)	花北	健康福祉部	地域医療対策室	総合花巻病院の進捗状況について	総合花巻病院は平成31年度に開院すると伺っているが進捗状況についてお聞きしたい。	基本構想は、少し病床数は減ったが当初の予定と大きく変わってはいない。今後、矢巾に岩手医大が移転してくるが、岩手医大、岩手県立中部病院とも連携を強くしなければならなくなる。主に総合花巻病院は回復期の患者の受け皿となる見込み。今後は、医療関係者の意見をもらいながら進めていくこととなる。市民には必要な病院であることから、合併特例債を有効に使うことで市の負担が少しでも少なくなるようにしたいと考えている。なお、開院時期については、当初は平成31年4月の予定であったが数ヶ月遅れる見込みと伺っている。